

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公 開 特 許 公 報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2024-41241
(P2024-41241A)

(43)公開日
令和6年3月27日(2024. 3. 27)

(51)Int. Cl.
H 0 4 B 7/0456 (2017. 01)
H 0 4 B 7/0452 (2017. 01)

F I
H 0 4 B 7/0456 1 0 0
H 0 4 B 7/0452

テーマコード (参考)

		審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 32 頁)
(21)出願番号	特願2022-145940(P2022-145940)	(71)出願人 000004226 日本電信電話株式会社 東京都千代田区大手町一丁目5番1号 (71)出願人 598015084 学校法人福岡大学 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号 (71)出願人 504132272 国立大学法人京都大学 京都府京都市左京区吉田本町36番地1 (74)代理人 110001634 弁理士法人志賀国際特許事務所 (72)発明者 岩國 辰彦 東京都千代田区大手町一丁目5番1号 日 本電信電話株式会社内
(22)出願日	令和4年9月14日(2022. 9. 14)	
		最終頁に続く

(54)【発明の名称】 基地局装置、ウエイト生成方法、及び無線通信システム

(57)【要約】

【課題】低演算量で効率的に干渉抑圧を行うこと。

【解決手段】

複数のアンテナ素子を備えた基地局装置と複数の端末装置とが同一周波数上で同一時刻に空間多重伝送を行う無線通信システムにおける基地局装置は、端末装置のアンテナ素子又は該アンテナ素子を合成して得られる仮想的なアンテナ素子と基地局装置の備えるアンテナ素子との間のチャンネル情報により生成されるチャンネルベクトルと、チャンネルベクトルとは異なる端末装置のアンテナ素子に関連する追加のチャンネルベクトルとを並べたチャンネル行列に基づいて複数の端末装置に対して空間多重伝送を行うためのウエイトベクトルを算出し、追加のチャンネルベクトルとして第1チャンネルベクトルより前に取得された一つまたは複数の第2チャンネルベクトルの中から第1チャンネルベクトルとの相互の類似度が低い第2チャンネルベクトルを選択してウエイトベクトルを算出する。

【選択図】 図12

